

浦上の歴史さるくとキリシタン信仰

2023年3月4日 土 13:30~17:00

●主旨: 浦上はローマにも引けを取らない信仰と殉教の聖地。近代は航空魚雷と艦船建造のメッカ。総合して長崎学に比肩する内容を持っている地区である。しかし中世以前の姿は、有馬氏侵攻とキリシタンによる兵火により、地名・伝承から偲ぶしかない。今回はキリシタン遺跡、古城・工場遠望、被爆遺跡巡りを主としながらも、信徒の伝承に詳しい深堀省三氏他、参加された方々の衆知を集め、街道沿線の史跡や地名から浦上学を掘り下げてみたい。

●さるくルート: 浦上キリシタン資料館→浦上街道→平ノ宿→高谷分家・稚桜神社→長大医学部被爆正門→浦上天主堂・高谷庄屋跡→ザベリオ秘密教会跡→如己堂・かくれキリシタン帳方屋敷→山里小学校・被爆遺跡→ベアトス様殉教碑→白山墓地・対空銃座跡→サンタクララ秘密教会跡→元大橋→サンタクララ記念碑→ヒバクシャ・コミュニティ・センター

※天候などによってルートを変更する場合がありますのでご了承ください。



●案内人: 原口茂樹 (長崎大学非常勤講師)

公立学校定年の後、長崎大学と活水高校で、長崎歴史文化学を教えている。フィールドワーク授業は、他県のみならず市内の学生にも好評。著書は長崎文献社からオランダ通詞「吉雄耕牛」、「日本の名城紀行」等

●参加費: 500円 ●定員: 30名
●申し込み: 浦上キリシタン資料館へ
電話・FAX・メールでご予約ください
tel&fax: 095-807-5646
urakamicm@mxn.cncm.ne.jp

●企画: NPO 法人アジェンダ NOVA ながさき
<http://feature.jp/agenda>
理事長 林田慎一郎 (tel: 090-7923-7435)